

# いこもの風

瀬戸内町立伊子茂小・中学校 児童生徒数							総計	令和4年 3月18日現在
小1	小2	小3	小5	中1	中2	中3	24名	
1	2	3	2	8	2	6		

【3月号】 令和4年3月18日発行 伊子茂小・中学校 TEL 76-0018

## 休眠打破

校長 櫻井 登

次の文は、卒業式の式辞の中で、6人の卒業生へ送った言葉です。

「休眠打破」という言葉を知っていますか。これは春に桜の花が咲くことに関係しています。桜は暖かな春になると芽を出し成長し、つぼみをつけ、花を咲かすのではありません。

実は、葉っぱがたくさんある夏には、次の春に咲く花の芽を出し、エネルギーを蓄えます。そして、葉っぱをすべて落とす秋から冬のはじめにかけて、成長を止め、眠りに入ります。その後は、春の暖かさの中で芽がどんどん成長し、つぼみとなり、そして一斉に咲き誇るのです。

しかし、その前に大事なステップがあります。桜を眠りから起こさなければなりません。それが「休眠打破」です。

休眠打破のためには、一定期間寒さにさらされることが必要なのです。暖冬であり寒くない年は、春先いくら気温が高くても休眠打破の条件が整わず桜が休眠から覚めにくくなります。

冬の寒さがなければ咲かない桜。  
冬の寒さがあるからこそ見事に咲く桜。

この「休眠打破」はみなさんにも当てはまると思います。生きていくうちには苦しいことや辛いこと、何をやってもうまくいかないことなど、いろいろな試練を体験します。

桜に冬の厳しい寒さが必要であったように、試練が人の成長を促す「休眠打破」となるのです。

卒業生のみなさん、これからの新しいステージで、失敗を恐れずに何事にも前向きに挑戦してください。

## 伊子茂中学校卒業式

3月15日(火)に、第60回中学校卒業式を厳粛な雰囲気の中で、挙行了しました。

小学生のお別れの言葉、中学生の送辞及び答辞(一部裏面に掲載)、保護者代表のあいさつ、全てにこれまでの想いが伝わる感動に包まれた卒業式でした。

そして、最後に中学生全員による森山直太郎さんの曲「さくら(独唱)」(裏面に歌詞掲載)の合唱でした。再度、涙の感動のシーンとなりました。

また、コロナ禍で、感染症予防対策をした上での縮小した形の卒業式でしたが、各集落の区長さん等を来賓としてお招きしました。保護者や地域のみなさん、これまで、6人の卒業生を温かい目で見守ってくださり、本当に、ありがとうございました。



## 最後の全校朝会

3月7日(月)が、私の校長としての、最後の全校朝会でした。本年度2学期からの全校朝会は、「わくわく感」や「目標達成のための目標設定」、「思いやり」、「時を守り場を清め礼を正す」等、できるだけ『気持ち』に関することを、子どもたちの心に投げかけてきました。

そして、最後の全校朝会は、1980年～1983年にテレビ放映された野球マンガ「キャプテン」の主題歌『君は何かができる』(裏面に歌詞掲載)を試聴させての話で締めくくりました。この曲は、とにかく歌詞が良くて「夢」を抱かせてくれます。

子どもたちは、次のように感じたようです。

- 自分もこんな風な生き方をしてみたいと思った。
- めちゃくちゃ歌詞が良かった。
- とても前向きな曲で、新しいところへ進むときにぴったりだと思いました。
- 私は、よく、「自分にはできないのではないか」と思うことがあります。けれど、自分にもできることを探していきたいと思います。
- 勇気を出して、色々なことをがんばって、できるようになりたいと思いました。



## 中学3年生を送る会

3月10日(木)、4月から加計呂麻島を旅立つ中学3年生の送る会を行いました。

在校生が、ダンスや手品、エール、クイズ、歌などを披露しました。

最後は、小・中学生が混ざって、校庭いっぱい使った「ケー・ドロ」で楽しみました。伊子茂小中らしい、愛に満ち溢れたお別れ会になりました。



## 児童生徒会のSDGs活動

本校は、エコキャップ回収(第一生命から薩摩川内市の企業にて再加工した収益でワチン寄付)や書きそんじがき回収(ユネスコを通して切手に交換して「世界寺子屋運動」で活用)等の活動をしています。

(裏面に感謝状を掲載しています。)

## 受賞おめでとう

岩崎 貴 中学3年 新〇〇〇ら

岩崎育英文化財団が、勉学に精励し、学業成績優秀にして人格的にも優れ他の模範となる生徒の努力を称え、卒業後の健闘を激励する賞(県の中学生で130名程)

体力アップチャレンジかこしま 伊子茂小学校 学校賞  
のぼしてコロコロ 県で 小1・2年1位, 小5年1位  
一輪車でGO 県で 小1・2年8位, 小3年1位  
馬跳びヨビヨビヨ 県で 小1・2年8位, 小3年7位  
2人でさっさっ 県で 小1・2年8位



※ 裏面に、4月行事予定や卒業式での答辞の一部、歌詞(さくら、君は何かができる)、3月6日に南日本新聞「若い目」に掲載された小学1年生中〇〇くんの記事等載せていますので御覧ください。